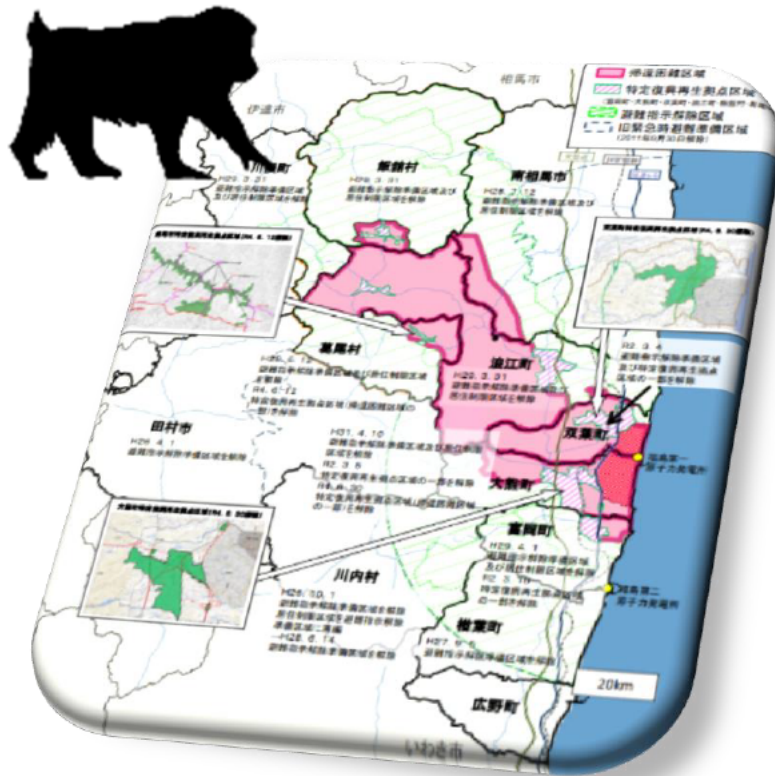


福島 12 市町村 ニホンザル対策ハンドブック



令和5年3月
復興庁

はじめに

本ハンドブックは、福島 12 市町村の行政担当者が効果的なニホンザル（以下、「サル」という）対策を実施するために作成した手引書です。

福島 12 市町村では、平成 23 年に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故以来、長期間に渡り住民が不在の状況が継続した結果、野生鳥獣の分布拡大が確認されるようになり、住民の不安が増し帰還への大きな阻害要因となっていました。近年ではサルの分布拡大と被害の増加が懸念されています。

除染や社会インフラの整備といった帰還する住民の生活環境整備に合わせ、人の生活空間に出没するサルを排除して被害が発生するリスクを最小限にするとともに、生活への不安を払拭することが必要です。また、帰還が進んでいる地域等においても農林業被害や生活環境被害の解消を目指さなくてはなりません。そのためには、関係機関が連携して、総合的かつ広域的なサル対策を推進することが求められます。

本ハンドブックでは、サル対策の基本的な考え方を示すとともに、福島 12 市町村におけるサル問題の現状を踏まえた対応策を示しています。12 市町村の行政担当者におかれましては、サル問題の解決に向け本書をご活用下さい。

復興庁

目 次

【12 市町村のサル生息概況】	1
【基本知識編】	3
■サルの生態と行動	3
1. 基本的な行動と生態.....	3
2. サル対策でこれだけは知っておいてほしいサルの行動と生態.....	4
■サル対策の基本的な考え方.....	5
■実効力ある対策の推進.....	6
1. 特定計画に基づく実施計画の作成.....	6
2. 関係市町村の情報共有と対策検討の場の創出.....	6
3. サル対策の人材確保.....	6
【被害防除対策強化編】	8
■環境整備の強化	11
1. 藪の刈り払い・誘引物除去.....	11
2. 集落点検の実施.....	11
■柵設置の強化	12
1. 個別柵	12
2. 広域柵	12
■追い払いの強化	13
1. 住民による追い払い.....	13
2. 行政支援による追い払い.....	14

【捕獲強化編】	15
■効果的な捕獲の実践.....	15
1. 現状把握	15
2. 群れの悪質性から捕獲方針を決定.....	17
3. 有害鳥獣捕獲と個体数調整の違い.....	18
4. 3つの捕獲方針.....	18
5. 捕獲方法	19
6. 大型檻による個体数調整.....	20
【市街地等でのハナレザル出没対応編】	23
■ハナレザルの特性	23
■市街地に出没するハナレザルの対応.....	24
【参考資料】	28